

# 全国高校生短歌大会

第8回 万葉の郷とっとりけん



大伴家持・山上憶良ゆかりの地で短歌を詠もう！

チーム部門  
個人部門

## 作品募集

募集期間：令和8年6月5日(金)～9月3日(木)

Illustration: 武田愛子

本選大会  
審査員



大辻隆弘氏

歌人、「未来」編集発行人・選者、  
宮中歌会始選者、現代歌人協会会員



穂村弘氏

歌人、歌誌「かばん」所属、  
日経新聞歌壇選者



江戸雪氏

歌人、「西瓜」同人、中之島歌会、  
2022年度「NHK短歌」選者

令和8年11月14日(土) 13:30～15:45

とりぎん文化会館 第1会議室

応募・問合せ先

鳥取県地域社会振興部文化政策課 (本庁舎5階)

〒680-8570 鳥取県鳥取市東町一丁目220 TEL. 0857-26-7843 FAX. 0857-26-8108

E-mail. bunsei@pref.tottori.lg.jp WEB. <https://www.pref.tottori.lg.jp/tanka/>

過去の大会の動画、入賞・入選作品、  
審査員の講評なども掲載しています

万葉の郷とっとりけん 短歌大会

## チーム部門

## 募集内容

1チーム3名(複数校での編成OK)

題を入れた短歌を1人1首創作して応募

題: 先鋒「記」 中堅「水」 大将「安」

## 予選

書面審査により、本選大会出場4チームと入選作品を決定(9月下旬予定)

審査員:

大森静佳氏  
歌人  
「塔」短歌会編集委員小島なお氏  
歌人  
「コスモス」短歌会選者  
2020年度「NHK短歌」選者

## 本選大会

日 時: 令和8年11月14日(土) 13:30～ 対戦、表彰式

▶ 出場チームは、大会後の交流会&amp;万葉の郷ツアーに参加できます(無料)。

※交流会は、大会当日、本選大会審査員も交えて開催。

万葉の郷ツアーは、鳥取市内の万葉集ゆかりの地や鳥取砂丘周辺をご案内。(大会翌日の午前中を予定)

対戦方法: 4チームにより、トーナメント方式で準決勝2試合、決勝1試合の合計3試合を実施。

先鋒・中堅・大将戦で、作者による短歌の発表後、本選大会審査員との質疑応答を経て、判定を行う。なお、参加者は万葉衣装を着用。

※準決勝は、予選に応募された作品により対戦する。決勝の題は募集要項に記載。

表彰: 優勝、準優勝、敢闘賞(2チーム)、入選(若干数)

※優勝、準優勝、敢闘賞には副賞(図書カード等)あり。

交通費: 交通費・宿泊費として上限150,000円/チームを支給



## 個人部門

## 募集内容

短歌(自由題)を1人1首創作して応募

審査員: 大辻隆弘氏、穂村弘氏、江戸雪氏、大森静佳氏、小島なお氏

表彰: 審査員特別賞(5名:審査員が1首ずつ選定)、入選(若干数)

※審査員特別賞は、大会当日の表彰式にて表彰を行う(副賞あり)。

受賞者来場の際は、交通費・宿泊費(上限50,000円)を支給し、交流会や万葉の郷ツアーにも参加可能。

## 応募方法

指定様式により、ウェブサイトから、または電子メールで申込み

※詳細は募集要項をご覧ください(ウェブサイトに掲載)。



締切 令和8年9月3日(土) 必着



優勝チーム名: 「尚学館・さくらんぼ♡」(延岡学園尚学館高等部・宮崎県) ※学年は大会当時

先鋒 題「土」 カニカマをカニだと思っていた君と望遠鏡で見る土星の環 請問 真歩(2年)

中堅 題「行」 返信が五分来なくて行間は君がいそうなぬるい深海 帯谷 到子(2年)

大将 題「然」 全然話聞いてないでしょってつねる耳たぶ冷たいのにやわらかい 森山 文結(2年)

このほか前回の大会の様子や入賞句を鳥取県のウェブサイトやYouTubeで紹介しています!



主催: 鳥取県 とっとり県民カレッジ連携講座

後援: 鳥取県教育委員会 鳥取県高等学校文化連盟 鳥取県歌人会 朝日新聞鳥取総局 共同通信社鳥取支局 山陰中央新報社 産経新聞社 新日本海新聞社 時事通信社鳥取支局 中国新聞鳥取支局 毎日新聞鳥取支局 読売新聞鳥取支局 NHK鳥取放送局 TSKさんいん中央テレビ テレビ朝日鳥取支局 日本海テレビ BSS山陰放送 鳥取県ケーブルテレビ協議会(順不同)

鳥取県は、大伴家持と山上憶良、万葉集を代表する二人の歌人が国司として赴任した地です。家持が万葉集結びの歌を詠んだ地で、万葉衣装に身を包み、短歌を詠んでみませんか。